

今も続く沖縄の戦時性暴力

～だから米軍も自衛隊もいらんねん！～

6月19日は、「紛争下の性暴力根絶のための国際デー」です。
レイプ・性奴隷・強制妊娠・性的拷問などの性暴力を戦争の武器として使わないよう、国際社会は呼びかけています。

80年前、日本軍は沖縄・朝鮮・台湾・本土の女性たちを「慰安婦」にし、沖縄に約140カ所もの慰安所を作っていました。戦後は、米軍基地が居座り、軍人・軍属による性暴力犯罪は絶えることがありません。

その沖縄で、2013年、「米軍普天間基地の司令官に『もっと風俗業を活用してほしい』と言った」とヌケヌケと口にしたのは、当時の橋下徹大阪市長です。公人としての責任感はなく、いまだ反省の言葉も述べていません。

今、ロシアやイスラエルによる軍事侵攻が止まず、内戦状態の国もいくつもあります。日本政府も自衛隊を増強して琉球弧の要塞化を進めています。

闘い続けている沖縄の人々とともに、「軍隊はいらん」「性暴力を許さない」の声をもっと大きくしていきましょう！

**「沖縄女性の終わらない『戦争』
～いまなお続く戦時性暴力～」**
＜お話し＞ みやぎ はるみ
宮城 晴美さん

ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号
京阪・地下鉄「天満橋」①出口東へ約350m

2024年

6月1日(土)

14:00～16:30

(13:30 受付)

参加費:一般(800円)
学生 障がい者(無料)



1949年沖縄・座間味村生まれ。親族の「集団自決」経験から家父長制下の「軍隊と性」の研究をすすめるが、戦争が終わってしまなお続く軍隊による性暴力の実態調査から、「軍隊の構造的暴力」について究明する。「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」会員著書に『新版 母の遺したもの 沖縄・座間味島「集団自決」の新しい事実』高文研、共著多数。

主催 日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク

<http://www.ianfu-kansai-net.org/> E-mail : info@ianfu-kansai-net.org

